

目次

2

30年度のスタートにあたり
(奥田新支部長)

3・4

30年度
支部・本部総会報告



30年度支部総会

5

サポート隊レイカディアの日

6

各部会活動 文化部・研修部・健康部・地域活動部

11

地域ミーティング

13

トピックス

17

会員投稿 エッセイ、俳句・川柳
 わが町の歴史（石山）

24

会員動向・編集後記

主 な 行 事

▶レイカディア大学祭・ステージ演芸

日 時：平成30年8月2日（木）10時～15時

場 所：レイカディア大学大教室

＜大学祭は8月1日（水）～3日（金）まで開催＞

▶レイカ大津の集い…39期新入会員歓迎会を兼ねて

日 時：平成30年10月19日（金） 13時～16時

場 所：大津市生涯学習センター

皆様のご参加をお待ちしています！

30年度のスタートにあたり

支部長 奥田 耕治 (33期 園芸・志賀)

今年度より岩田前支部長の後任で支部長を拝命いたしました。身に余る重責で役責を全うできるかどうか、また、浅学非才で能力も自信ありませんが、お受けした以上は背伸びをせずに役員の皆様方のお力を借りながら、微力ではありますが力を尽くす所存です。幸い、岩田前支部長のご尽力で事務局長、事務局次長、会計、各副支部長、五部会長などを責任感のある有能な方々を選任いただきましたので、私の能力不足を補って余りある恵まれた陣容となり、安堵しているところです。思えば第二の人生で働きながらレイカディア大学に通学して有給休暇を使い果たし、欠勤しながら、それでも出席日数の不足を同級生の皆さんに励ましていただき、やっとの思いで卒業しました。卒業と同時に同窓会に入会したものの、それでも家計を支えるために働き続けていたため、会費を払うだけで何の活動にも参加せずと言う状態が長く続いていました。その後、年金生活に入ったその年の会費の徴収の時に、「運悪く」初めて当時の岩田比叡地域副支部長と出会ってしまいまして・・・。

支部長役をお引き受けしたものの大津支部を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。毎年のように20名近い退会者が続出し、退会の理由を分析して対策を講ずることと、会費が収入のすべてである財務状況では新入会員の確保が何にもまして重要な課題です。特に大津市内からのレイカディア大学への入学者の増加が急務で、そのためには同窓会本部、大学事務局とサポート隊、えにしの会の皆さんとより一層の連携強化を図る必要があります。幸いなことに同窓会員でありながら、サポート隊やえにしの会で重要なポストで活躍されておられる方が数多くおられますので、相互理解と協力体制にはゆるぎないものがあります。また、支部の運営は何よりも公平で透明性の高いことが求められています。会員の皆様や役目をお引き受けいただいた役員の皆様方とは、十分に相談しながら物事を進めていく所存ですが、それには言い古された言葉ではありますが「報・連・相」が必要で、問題や課題、提案等はできるだけ顕在化して見える化を推進したいと思います。そのことがひいては役員の皆様方の負担を多少軽減ができるのではないかと考えています。前述した同窓会の退会者の皆様にとって、入会の意義や会の中での居場所を見出すことができなかつたり、提供できていないのではないかと懸念を持っておりますので、会員の皆様は担当の役員に何なりと相談や提案をください。役員の皆様はお一人で抱え込まずに地域の副支部長に連絡ください。執行役員会や役員会で英知を結集して、議論して解決の糸口を探りたいと思っています。このことがより風通しのいい組織にする早道で、なおかつ、相互理解の基本となるのではないかと確信しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



レイカ大津の集い&38期新入会員歓迎会



今年の新年会

平成 30 年度 第 34 回大津支部総会 報告

第 34 回大津支部総会は、平成 30 年 4 月 26 日午後 1 時 30 分より出席者 70 人のもと、レイカディア大学草津校大教室において開催されました。皇子山地区の清水 初美さんの司会で開会し、昨年度逝去されました堅田地区の藤田 政一様への黙祷、レイカディア讃歌の斉唱、次いで来賓の挨拶を西川 政宏様(県社協・レイカディア振興課長)及び山口 浩次様(大津市社協事務局次長)から頂きました。議長に釜淵 佳明さん(平野膳所地区)が選出され、出席者と委任状提出 123 名を加え、会員数 250 名の過半数を超え、会が成立している旨の宣言がなされ議事の審議に入りました。議事内容は以下の通りでした。



受付

1 号議案：29 年度事業報告 2 号議案：29 年度収支決算の承認 3 号議案：個人情報保護方針(新設)及び会則の一部改訂(期中の役員の増員時の任期は現任者の任期の残存期間とする他) 4 号議案：役員改選(支部長：奥田 耕治、副支部長：藤田 順一など) 5 号議案：30 年度事業計画 6 号議案：30 年度収支予算

総会の議案書に基づき熱心に審議され、全て賛成多数で可決されました。詳細については 30 年度大津支部総会資料をご覧ください。

最後に旧・新支部長の退任・就任の挨拶及び新役員の紹介があり、司会者から総会進行のお礼と閉会宣言が行われ 15 時 30 分に終了しました。

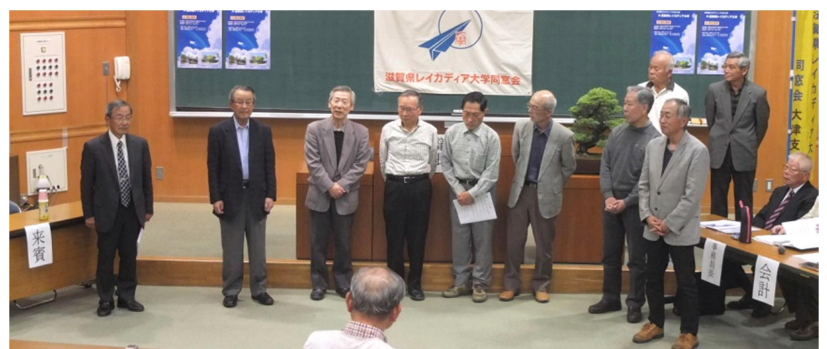
記) 広報部会 大塚 庸行



岩田支部長退任挨拶



奥田新支部長



左) 議案審議の様様

上) 新執行役員紹介

平成 30 年度 本部総会 報告

5月16日（水）13時より、レイカディア大学同窓会本部総会がレイカディア大学草津校大教室で開かれました。大津支部からの出席者36名を含め各支部から113名の出席がありました。

まず第一部 開会の言葉、物故者への黙祷、レイカディア讃歌斉唱、堀江同窓会会長挨拶、長寿者（白寿・米寿）慶祝〔対象者24名、大津支部からは谷 伊八（田上）、松田 勇（瀬田北）両氏が該当、谷氏は欠席〕、来賓祝辞（レイカディア大学学長 渡邊 光春氏代理・代読、三日月滋賀県知事代理・代読、県健康医療福祉部参事 竹元 豊一氏）がありました。

引き続いて第二部 総会議案審議に入り、第1号～第6号議案まで熱心に審議を重ね、いずれも賛成者多数で承認されました。

休憩のあと第三部として記念講演がありました。長浜公証人役場・公証人 井内 省吾氏が「公証人の目から見た日本（梗概）」と題し、公証人の仕事は、争いのない法律行為（契約・遺言）を「判決」と同効力のある文書を作成する行為である。仕事の半分以上は遺言・任意後見など、高齢者からの依頼で、内容は「家」の承継を中心とした「財産分け」であり、これは世界共通のものではあるが、日本ではその上に先祖代々のお墓や仏壇・神棚の管理、葬儀、法要といった日常的祭礼を守ってくれることを明確にしておきたい気持ちが強く、これは日本の特徴ともなっている。その他、堅苦しく難しい話をユーモアを交え、多くの事例説明をして分かりやすく話していただいた。

記）広報部会 栗田 昇



堀江会長挨拶



長寿者慶祝の大津支部 松田様



新役員紹介



記念講演 公証人 井内 省吾 氏

サポート隊レイカディアの日に参加

大口 正勝 (36期 地文・堅田)

曇り空の下、6月8日(金)に地球市民の森で開催された「サポート隊レイカディアの日」に、大津支部から奥田支部長はじめ10名が参加した。このレイカディアの日は、レイ大建学の精神である社会貢献活動と草津・米原両校の卒業生と在校生の交流を目的としたレイ大サポート隊の最大、かつオールレイ大的イベントである。昨年までは「サポート隊ボランティアの日」と称していたが、レイカディア大学の知名度アップのため「レイカディアの日」に、との渡邊学長の要請を受け、改称された。

この日の参加者は約200名で、そのうち同窓会関係者は大津支部を含め22名、米原校は23名、36期から38期の卒業生が主体で、在校生は39名であった。空模様を気にしながら午前10時から約1時間半作業したが、内容は2つで1つは地球市民の森・旧センター周りの林の伐採と枝切り、もう一つは竹林の伐採と運び出しで、当支部は林の伐採・枝切り作業を担当した。

この仕事が意外と大変で、目印のある太さ10cm前後の木を根元から切って倒し、幹は2m程度に切り分け、枝を払って所定場所に運ぶのだが、ノコギリの歯が木に取られるし、丸太は重たいし、切り払った枝には毛虫が居るはで、蒸し暑い中での厳しい作業であった。

ひと汗流した後は、みさき自然公園に場所を変え、バーベキューを楽しんだ。



サポート隊・山本隊長の挨拶



林での伐採作業



竹林での伐採・搬出作業



バーベキューの一場面

[部会便り]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

第1回グラウンドゴルフ大会報告

5月24日(木)13時から、矢橋帰帆島グラウンドゴルフ場で、平成30年度の第1回大会が24名の方が参加して、開催されました。

前日の雨も上がって、当日は快晴で強い日差しの中、皆さん和気あいあいの雰囲気です。4ラウンドを廻り、大いに楽しむことができました。トピックスは、レイ大40期現役の川田 道紀さんが、飛び入りで参加されました。



絶好のコンディションでしたが、速い芝とコース途中のコブやホールポスト近くのベアグラウンドなど悪戦苦闘で、ボールがなかなか言うことを聞いてくれませんでした。

結果は、優勝が松岡さん(北大路)、準優勝が上野さん(一里山)、第三位が徳本さん(田上)でした。ホールインワンは7個ができました。

平成30年度健康部事業計画

月	日	曜日	事業計画	備考
5	24	木	第1回グラウンドゴルフ大会 終了済み	矢橋帰帆島公園
6	22	金	第2回グラウンドゴルフ大会	びわこ文化公園
7	12	木	第1回ディスコン大会 草津・栗東支部との共催	草津市体育館
9	未定		研修部会合同企画	研修部会企画参照
10	未定		第2回ディスコン大会 瀬田シニアと合同開催	瀬田市民センター
11	未定		第3回グラウンドゴルフ大会	未定
2	未定		第3回ディスコン大会	未定
3	未定		第4回グラウンドゴルフ大会	未定

今後、状況によって計画の変更もあります。

<今期から健康部会長は岸 研治さん(36期 地文・志賀)が就任されました>

「文化部」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう～

平成 30 年レイカ大津支部作品展

会期：4月6日（金）～4月8日（日）までの3日間

場所：大津市生涯学習センター1F ギャラリー

今回の出展者は55名（含、書道同好会・絵手紙）、出展数136点の力作を出展して頂きました。このうち瀬田地域の92歳の方にも出展して頂き、38期卒の方も2名おられました。昨年より出展者・出展数とも大きく増えました。又、202名の方々にご来場頂きました。

開催の初日にZTVの報道取材があり作品展の様子が放映されました。又、大津支部のホームページ担当者の取材により、ホームページに掲載されておりますので来場出来なかった方々に、ご覧いただければ幸いです。



サークルの紹介

● マジックサークル

- ・日時 毎月第2・第4木曜日 13時半～
- ・場所 びわこ大津館
- ・会費 1,500円/月
- ・連絡先 山本 和男（比叡・志賀地区） 電話：594-3630

● ほのぼの絵手紙サークル

- ・日時 毎月第1月曜日 10時～12時
- ・場所 中老人福祉センター
- ・会費 1,000円/3か月
- ・連絡先 齋藤 治子（瀬田・瀬田南地区） 電話：543-2895

● パソコン同好会

- ・日時 毎月第1・3火曜日 13時半～
- ・場所 中老人福祉センター
- ・会費 2,000円/年
- ・連絡先 市吉 登美一（中央・平野膳所地区） 電話：525-6544

● 書道同好会

- ・日時 毎月第2・第4木曜日 13時半～
- ・場所 中老人福祉センター
- ・会費 500円/月
- ・連絡先 荒堀 勝正（瀬田・瀬田地区） 電話：543-5552



「研修部」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

研修部・健康部合同企画 「信長ゆかりの安土城跡と文芸の郷散策」

松村 康数 (32 期 生活・瀬田)

快晴の3月29日10時、リニューアルなったJR安土駅に30名が集合。駅前の広場にて、永尾研修部会長の挨拶、続いて荒堀健康部会長の指導でストレッチ運動にて体をほぐし、その後「文芸の郷」に向け出発。

「県立安土城考古博物館」の庭園には満開に近い桜の花の出迎えを受けて感動。玄関ロビーで学芸員から説明を受け、「考古」展示室では弥生・古墳時代にタイムスリップ、「城郭」展示室では安土城をはじめとする城郭の変遷を学び、企画展示室では、修理されて美しくカラフルに蘇った「徳川家康」「織田信忠」の肖像画を鑑賞した。

次いで隣の「信長の館」に移動。エントランスを入ると、眼前に朱塗りの柱を巡らし、黄金の障壁画の絢爛豪華な八角堂に驚かされた。「信長の館」は、「スペイン・セビリア万博」の日本館のメイン展示として安土城天主を原寸大に復元されたものを、万博終了後、旧安土町が譲り受け解体再築したとのことであった。5階部分には天人の飛ぶ様を描いた「天人影向図」、6階部分には金箔10万枚を使用した煌びやかな「外壁」、豪華な金箔の鯨が乗った大屋根など、どれも絢爛豪華で信長の権力と富の結晶・象徴が垣間見えた。昼食は隣のレストランにて休憩で一息ついた。

その後「安土城跡」へ向かった。入口前で二組に分かれて、ボランティアガイドについて入山、大手道の幅の広い一直線の石段が目飛び込んできた。約400段あると聞いて、近くの備え付けの木枝の杖を拝借した。所々に石仏が石段に使用されていて、踏まないように避けて登った。摠見寺仮本堂、信長公本廟を経て頂上の本丸跡へ、天主跡に「信長の館」の絢爛豪華な天主閣を重ね合わせ、しばし「天下布武」の信長の思いに馳せて。天主跡から西の湖を望む眺望は素晴らしく、疲れた体を癒してくれた。ついで三重塔、仁王門を経て下山した。



永尾さん説明の「新宮神社」「セミナリヨ跡」へ、セミナリヨ跡は、信長の命により、イタリア人宣教師オルガンチノにより創建された日本最初のキリシタン神学校であったと学んだ。最後の力を振り絞ってJR安土駅へ、全員無事に16:20発の「快速網干行」に乗車し帰路に就いた。ご参加の皆さん本当にお疲れ様でした。



30 年度研修部の活動計画

- 7月12日(木)14時～15時 市民病院健康講座「脳梗塞にならないために、なったらどうする」
- 9月 キリンビール、(独)国立印刷局彦根工場と多賀大社(健康部会と合同企画)
- 11月 ガイドツアーで巡る京都御所、京都迎賓館
- 1月 近代美術館出前講座(内容—今後検討)
- 3月 歴史探訪(場所—今後検討)

「地域活動部」 ～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

1、平成 30 年度活動方針と年度計画

本年度の地域活動部会長となりました、比叡地域志賀地区の藤田 順一です。前任の山口部会長の活動は、丁寧で幅広い素晴らしい内容でした。

- 本年度は石山地域の河嶋 文雄さんと井口 ちえ子さんに副部会長をお願いして 2 名体制にしております。
- 地域活動報告の情報を部会員に共有化して、地域活動部会員と共に歩んで行きます。
- ホームページ担当者と相談して、活動集計表を新しくしました。

2、活動報告及び活動計画

「小学校の応援活動」では、4 地域の良いところを共有化し合い、活動の充実化を目指します。

「まちなか応援活動」は、前年度の活動実績に基づき、継続的な取り組みとします。

3、4 地域の活動 4 月実績と 5 月 31 日現在の活動集計（次ページの表を参照）。

4 月トピックス

比叡地域、真野北小学校の花壇活動を 3 回行い、入学式にパンジー花鉢をラッピングして、体育館入口に飾り付けを行った。真野北児童クラブに畑支援活動を行い、キュウリ、トマト、サツマイモ等を児童と共に植え付けを行った。

中央地域、4 月に平野小学校で 7 名の参加を得て図書整理活動を行った。

石山地域、4 月に地域ミーティングを南郷公園で 14 名の参加で行った。

瀬田地域、4 月 16 日(月)、17 日(火)の 2 日間で、4 小学校と 2 幼稚園で打ち合わせを行い、年間行事日程の決定と応援活動、要望事項の確認を行った。

5 月トピックス

比叡地域、春から夏にかけての小学校の応援活動に、参加可能日の調査を行った。

本年度は、比叡地域の剪定活動は 12 小学校、図書整理活動は 1 小学校を計画。中央地域の校内剪定活動を応援・協働して行く。

中央地域、比叡地域の応援を得て、逢坂小学校と長等小学校に校内剪定活動を案内して、活動地域の範囲を広げる。

石山地域、3 小学校(南郷・石山・青山)の剪定作業を 5、6 月に行う。

瀬田地域、5 月 14 日瀬田地域ミーティングを開催し、小学校応援活動等の報告・計画を話合った。

4、まちなか応援活動 現在報告は出ていないが、参加を目指す活動を紹介する。

- ・スッキリ士隊活動、違反広告物を除去する活動で、大津市まちづくり計画課の講習を受け（推進員身分証明書を受領）活動を行う。
- ・大津祭の支援活動、400 年の伝統ある祭りで、地域住民として「大津祭曳山連盟」と協議しながら支援活動を行う。
- ・大津市琵琶湖周辺のヨシ刈活動 大津市環境政策課と地元実行委員会が平成 2 年度から取り組みに支部として参加。①堅田米プラザ ②石山蛭谷 ③雄琴市民ヨシ刈 ④下阪本
- ・囲碁・将棋出前対局 大津市社会福祉協議会から依頼の現在 3 ヶ所で実施。
① コンソルテ瀬田②真心デイサービス横木店③大津老人ホーム
- ・におの浜ふれあい祭 ゲームコーナー の射的、輪投げ、スーパーボールすくい等のゲームコーナーのアシスタントになり子供達の活動支援。
- ・「NPO 瀬田川リバプレ隊」 応援協力 瀬田川リバプレ隊は自然が大好きな人たちが集まって、瀬田川と母なる琵琶湖の歴史や風土を学び、未来に美しい川や湖を守る活動を行っている。

レイカ大津 小学校応援活動表（平成 30 年度 4～5 月分）

地域	応援項目	小学校名	実施日	参加者数	内在校生	内協力者	作業時間	延時間
比叡	剪定関係活動	木戸小学校	4月16日	17	0	0	2	34
	花壇関係活動	真野北小学校	4月6日	2	0	0	1.5	3
			4月9日	2	0	0	1	2
			4月16日	1	0	0	1	1
			5月31日	1	0	0	1	1
		真野北児童クラブ	4月27日	1	0	0	3.5	3.5
			5月17日	1	0	0	2	2
			5月24日	1	0	0	1	1
	パソコン教室	真野北小学校	5月21日	1	0	0	1	1
中央	花壇関係活動	平野小学校	5月28日	8	3	0	1.5	12
	図書整理活動	平野小学校	4月16日	7	2	0	1.5	10.5
石山	剪定関係活動	南郷小学校	5月21日	10	0	0	2	20
瀬田	剪定関係活動	瀬田小学校	4月16日	5	0	0	1	5
		瀬田南小学校	4月16日	3	0	0	1	3
		瀬田東小学校	4月16日	4	0	0	1	4
			5月17日	4	0	0	1.5	6
		瀬田北小学校	4月16日	3	0	0	1	3
		瀬田幼稚園	4月17日	5	0	0	1	5
		瀬田北幼稚園	4月17日	3	0	0	1	3
	花壇関係活動	瀬田東小学校	5月10日	5	0	1	1.5	7.5
	図書整理活動	瀬田南小学校	5月31日	8	3	2	2.5	20

＜今期から地域活動部会長は藤田 順一さん(37 期 園芸・志賀)が就任されました＞



第1回比叡地域ミーティング開催

北浜 靖朗（36期 びわ環・唐崎）

当初は満開の桜の下、お花見日和に開催する予定でしたが、総会シーズンを迎えて皆様の多忙な日々で日程調整がつかず、4月24日に比叡山の麓・坂本の芙蓉園本館（旧白膏院）の2階で開催しました。

当日は朝から雨日和となりましたが、17人の会員が定刻より早く参集し、和風庭園の雨に濡れた新緑の風情を存分に楽しみました。

そして和風料理を味わいながら、本年度のレイカ大津支部の役員に内定している支部長、副支部長、事務局長、監事と顧問、そして5部会のうち健康、研修、地域活動、広報の部会長となる4人をはじめ、21期から38期までの総勢17人が代わる代わるに立ち、今後の抱負や個々の様々な体験、これからの人生の楽しみ方や歩み方等を互いに語り合い、披露し、あっという間に予約の2時間半が過ぎ、最後は一本締めで幕を閉じました。

帰りは向かい側の里坊・旧竹林院（館長はレイ大36期生）へ挨拶し、雨上がりの坂本を後にしました。

〈今期から比叡地域の副支部長に藤田 順一さん(37期 園芸・志賀)が就任されました〉



最後は一本締めで



平成 30 年度第 1 回「レイカ瀬田ミーティング」開催

～魅力ある瀬田地域をめざして～

《瀬田地域副支部長》荒堀 勝正(32 期 健レク・瀬田)

平成 30 年度の最初のミーティングが平成 30 年 5 月 14 日(月)13 時 30 分から、瀬田東市民センターで行いました。出席者 23 名(内 1 名地域住民)で輪番当番である瀬田北地区の棚橋理事の議事進行で定刻に始まりました。

最初は、期初につき全員の自己紹介より始まり、①報告事項として 4 月 16 日、17 日に関係者で 4 小学校、2 幼稚園を訪問による結果報告、年間行事日程の報告。②連絡事項を 5 部会役員より、地域活動部会は前部会長の山口さんより 6 年間の活動報告をグラフを活用して説明をしていただきました。③小学校応援活動を各班長より 1 年間の活動予定。④その他で山田



隆造さん(28 期園芸)がコンソルテ瀬田へ囲碁の出前教室を 5 年続けておられたが、山田さんが行けなくなり、磯田さん、原田さんをお願いすることにしました(名称もレイカ瀬田・囲碁サークルとする)。

ミーティングを通してコミュニケーションをとり参加者を多くするために、会議だけではなくレクリエーションを交えた会合にすることにより、多くの参加者がいろいろな場に出ていただくことを目指します。教育と教養・・・(今日行くところがある、今日用事がある)。

石山地域の地域ミーティング

《石山地域副支部長》永尾 正昭(34 期 地文・石山南郷)

4 月 5 日(木)11 時半に南郷公園で花見を兼ねた 30 年度最初の地域ミーティングを開催しました。天気は少し曇りがちでしたが、心地よい気候でした。ソメイヨシノの桜は残念ながら満開を過ぎ、枝垂桜が満開という状況でした。ブルーシートを敷き、女性 5 名を含む 14 名が参加しました(現役が 1 名)。

総会も近づいており、会員の数や会費の確認並びに役員の確保などの情報を集めました。各自持参のお酒・おつまみ・御菓子やお弁当を頂きながら気楽な会合となりました。自己紹介などをしながら、今後の地域の在り方などを話し合いました。午後には安藤 気沙代さんが提供した「四文字熟語のかるた」を取り合いながら楽しいひと時を過ごしました。

今後もこのような楽しい地域ミーティングを催すことを誓って、2 時半頃終了することになりました。



第6回おうみ社会貢献賞を受賞

顧問 岩田 和彦 (32期 陶芸・志賀)

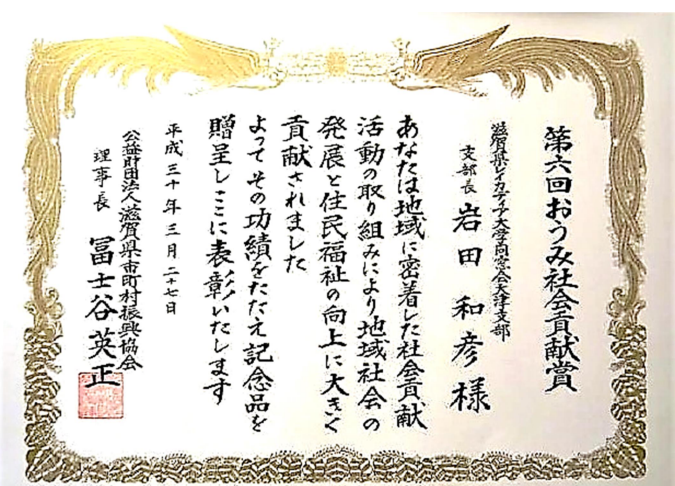
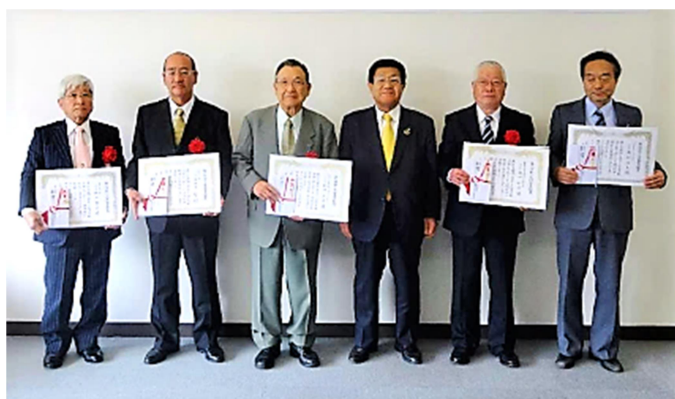
去る3月27日公益財団法人滋賀県市町村振興協会より、第6回おうみ社会貢献賞の賞状と賞金を会員を代表して受賞しました。協会の表彰の趣旨は、県内における地域に密着した社会貢献活動に地道に取り組んでいる民間の団体や個人を表彰することにより、協働のまちづくりへの意識を高め、まちの活性化に寄与することを目的にしている。また、表彰団体や個人の取り組み事例を広く紹介し、併せて同協会事業を広くPRする、ことです。

昨年夏頃に応募の内容を知り、「小学校応援活動」、「まちなか応援活動」、「マジック出前活動」について、『レイカディア大学で学んだ「地域の担い手」として、市・市社協・地域の主催行事に参画し、市や市民に発信し理解と共感をしてもらうこと、一般市民との交流や在校生に呼びかけ、活動の継続と拡大を図り地域社会の発展に貢献する事を目的とする』として3件を応募しました。2月に窓口の方より、3件を一つにまとめた表彰でどうかの打診があり、当初より親切丁寧に対応いただきましたので快くお受けすることにしました。

3月27日の表彰式には数多くの中から選ばれた団体は他に、愛荘町の「あいかわ会」・湖北の「杉野山の会」・大津の「おやじのたまり場」・守山の「下之郷遺跡まつり」の4団体とともに理事長より表彰を受賞しました。理事長を囲んでの懇談では、他団体の活動には耳を傾け質問もされておりましたが、「レイカディアさんは有名や!」のみでしまい、些か拍子抜けでした。理事長はみなさんもお存じの「地域事例発表会」でいつも祝辞を戴く富士谷近江八幡市長であり、ご住職で同い年でもあり親しみを感じておりましたが、その後の市長選で落選され残念なことでした。終了後に弁当を出していただきましたが、レイカ大津の役員会を途中退席で表彰式に出席したため舞い戻り、その後に食しましたが、品のある味で美味しくいただきました。

是非ともみなさんにはお願いですが、大津支部活動以外に多方面でご活躍のことは承知しておりますが、その活動を「より大きな塊に」「より多くの人に知ってもらう」ために、支部活動としての展開や助成金の活用で「活動の見える化!」をお考えいただきたく思います。去年は無知恵を絞り、助成金等20件を申請し、7件の採用を頂きました。

日頃の皆様方の骨身を削った活動に対して、助成金や表彰を得られるよう、同窓会として今後も努める所存です。



三日月滋賀県知事からの手紙

支部長 奥田 耕治 (33期 園芸・志賀)

広報部会の皆様が多忙な中、年間4回発行いただいている我々の会報誌である「かけはし」は言

うまでもなく会員の皆様への情報提供や意見発露のものであります。が、一方では大津支部の活動を広く知らしめるツールです。勿論、リアルタイムではHP などもあります印刷物として残る貴重な存在です。広報部員の皆様が記事の収集から、場合によっては取材など、編集、校正、印刷など様々な工程を経てお届けする労作ですから、会員内のみならず在校生や各種関係団体、報道、行政機関などに我々の活動をご理解いただくために配布させていただいております。その中に県庁の知事室という配布先があり過日出来たばかりの「かけはし」60 号を岩田前支部長と引継ぎを兼ねて一緒にお届けに上がりました。

知事は御不在でしたが、ご一読いただきたいとのコメントと名刺を添えてお預けしてきました。思いがけず三日月知事より返信いただきました。知事の掲げておられる「健康しが」の一翼を担う高齢者の団体であるレイカディア大学、及び同窓会に対しての期待が大であることの表れだろうと思っています。

男性の平均寿命が日本一になったことに対する並々ならぬ行政としての努力と、また、それをけん引する知事の手腕に敬意を表したいと思います。

平均寿命もさることながら最近とみに話題になる「健康寿命」は会員相互の親睦と教養の向上を図り、諸活動を通じて地域社会に貢献するという、我々同窓会の設立目的に図らずも合致していて、レイカディア大学の卒業生は同年代の一般の方々に比しても、心身ともに元気に活躍されている方が圧倒的に多いように感じるのは私だけでしょうか。勿論すべての卒業生が元気でおられるとは限りません、中には病を得

て闘病生活をされている方もあるかもしれませんが、先般の本部総会で米寿の慶祝者の皆さんのお顔を見ている限り、まだまだという感慨を受けました。できることなら、県内のレイカディア大学で未就学の皆さんに「長生きしたければレイカディア大学で学び、楽しんで卒業後はご本人と地域のために共に活躍しませんか」と提案したいものです。

我々の地域活動に対するスタンスは「無理なく、出来ることを、出来る時に、出来る範囲で」ということでありましたが、さらに一言付け加えさせていただきます。

「無理なく、出来ることを、出来る時に、出来る範囲で、楽しく」・・・



会報誌「かけはし」の思い出

大塚 庸行（25 期 陶芸・打出）

平成 26 年 6 月から広報部会長として 4 年間 16 回の「かけはし」発行に当たりました。今回、福井 かおる様に後任を引き受けて頂くことになりほっとしております。今まで機関誌や学生新聞作りの経験をした事がなかったので、本当に貴重な経験をさせていただいたと思っています。高齢者になって新しい事にチャレンジし自分自身を活性化させる事が出来ました。かけはしの工程は、原稿の依頼、編集、割付、校正、印刷、そして配布されます。編集会議も 3 回から 4 回開催され、慎重な検討を経て約 1 ヶ月近くかかります。これらの工程を経験する事により、日々目にする各種情報誌やコミュニティ誌・フリーペーパーなどにも特に記事内容、イラストやカットその配置・配列等に関心を持つようになりました。



編集に当たり一番留意したことは、会員各位に「かけはし」を読んでもらうにはどんなものにするか、文字の羅列ばかりではダメ、写真やイラスト・カットを入れビジュアルなもの、特に写真には会員の顔が写っているもの・・・にする。これらに対して編集スタッフの中に、PC やインターネットに強い人、そして誌面作りのデザインに強い方々が居られ、幸運なスタートが出来ました。皆様に感謝感謝です。特に表紙の色を変えてレイカ大津の会報誌「かけはし」である事が判読出来、また記事の配置の固定化等読みやすくする事が出来ました。また「かけはし」発行 50 号では、記念号として外部の印刷業者に委託、会員全員による 100 文字投稿、写真で振り返るこの 1 年を特集しました。やはり文字や写真等が鮮明に表現されておりましたが、毎号を外部発行するには費用の面で叶いません。また情報誌作成についての外部講習会を受講した折に、講師より「表紙を黄色にしている、記事の中の写真を大、小と変化をつけている、見やすくしている等」良かったと評価されました。スタッフへのなによりのご褒美となりました。編集作業も改善する事ができました。PC メールの活用で、編集会議開催前に事前検討するようにしたことにより編集会議を 3 回から 4 回実施していたものが、1 回程度省略できるようになり、印刷当日の作業も各種印刷機材に慣れた事もあって、昼食前に印刷作業を終了出来るようになりました。

平成 28 年には三日月知事の突然の来訪がありました。かけはし 53 号（平成 28 年 9 月）の印刷作業している時に、全国広報広聴研究大会の主催者挨拶に来られた折に立ち寄られました。知事は気さくに写真撮影に応じて下さいました（54 号掲載済み）。その後も知事からはレイカ卒業生の陶芸展への祝辞を頂いたりしております。知事へ「かけはし」をお届けして以来、我々の活動に関係ありそうな行政機関にも発行の都度配布し、我々の活動を PR しています。主な配布先は、県庁（知事他 5 ヶ所）、市役所（市長他 8 ヶ所）、明日都（市社協他 6 ヶ所）、レイカ大学在校生・事務局などです。

「かけはし」は、支部会員の情報や交流の手段として、力をあわせ知恵をだしあって育てて行きたいと考えています。これらに加えて大津支部での活動、特に地域貢献活動等を通じて、広く市民にも認知して頂く事も重要な役割として加わってきました。各種関連団体、報道、行政機関への働きかけ等です。社会貢献活動事業にも参画し、その甲斐もあって一部の地域活動が認められ助成金・貢献賞を受領する活動も出てきました。

今後はもっと広く「レイカ大津」を認知してもらうべく誌面の充実を目指します。滋賀県は健康寿命日本一になりました。その原因の一つが、ボランティア活動が盛んとの事、現在の皆様が活躍されている各種活動・ボランティア活動への参加状況を編集部はその様子をご一報くだされば取材に参ります。

＜今期から広報部会長は福井 かおるさん(34 期 健レク・唐崎)が就任されました＞

平成 30 年 草津校大学祭ステージ演芸の案内

今年も8月2日(木)10時～15時で開催されます。ステージ演芸では大津支部から北大路地区の澤島 令子さんが「大津祭と支部のボランティア活動」を紹介します。また、「マジックサークル」から山本 和男さん他の方々が出演されます。是非多くの方々のご観覧をお願いします。

在校生の展示発表は8月1日(水)、2日(木)、3日(金)の3日間開催されています。



写真は昨年のも様



レイカディア大学 41 期生募集中!!

出願期間：平成 30 年 6 月 1 日～7 月 31 日

6千人近い卒業生を輩出して来たレイカディア大学も今年で41期生の募集となります。「人生100年時代」のセカンドライフを健康で生き生きと暮らし、一緒に活動できる仲間達、そして活躍できるフィールドをレイカディア大学で学ぶことが出来ます。

会員の皆様には「チラシ」を配布させていただきましたので、是非お知り合いの方に口コミで案内をお願いします。皆様のお力添えで母校の発展を願うばかりです。



園芸学科 (草津校・米原校) 四季折々の自然を親しむ	北近江文化学科 (米原校) 北近江の歴史・文化を楽しむ	びわこ環境学科 (草津校) 琵琶湖の自然と暮らしを学ぶ
健康づくり学科 (草津校・米原校) 健康と出会いを求めて	地域文化学科 (草津校) 地域の歴史・文化等を学ぶ	陶芸学科 (草津校) 粘土と遊び、炎に願いを

[会員投稿]

勇気と感動をありがとう

堀口 唯子（26期 生活・日吉）

4年に一度開催される冬季オリンピック、17日間にわたる感動のドラマが終わりました。メダル獲得数は金メダル4個を含む、過去最高の13個という素晴らしい結果でした。メダル数もさることながら、多くの感動と話題を与えてくれた大会であったように思います。これも偏に、選手の皆さんがこの大会にあわせて最大のパフォーマンスを発揮できるよう努力されてきた成果でしょう。その中でも私が特に感動した数人をピックアップしてまとめてみました。

まずはスキージャンプで銅メダルを獲得した高梨沙羅さんです。前回のオリンピックでは大きな期待というプレッシャーのため、わずかなところでメダルに届かず、悔しい思いをされました。今大会でも多くの方の思いを背中に感じながら練習をされてきたと思います。最後のジャンプを飛び終えたとき、自信と達成感をにじませた表情で、同僚選手のもとへ帰ってきた姿は印象的でした。祖母の豊子さんは涙してとても喜んでおられました。私も同年代の孫がいますのでジャンプの時も力が入り「それー」と声が出てしまいました。

フィギュアスケート女子では、宮原知子さんが1年前に負った怪我を乗り越え、オリンピックの舞台上ミスなく華麗に舞った姿に頭が下がりました。高校生の坂本花織さんは若さあふれるはつらつとした演技で、これからの活躍に大いに期待が持てます。ベートーベンの月光で演技した時は、曲のイメージと演技がピッタリで感動しました。

今大会、最も注目された人は、やはり羽生結弦さんでしょう。昨年11月の右足首の負傷後、どの程度回復しているのかという情報も少ない中で、日本中がその登場を固唾を呑んで待ったものです。演技が終わった時には、怪我をした足とアイスリンクに手を当てて感謝している姿に、彼のこれまでの選手生活の思いを見た感じでした。

スピードスケートの小平奈緒さんも堂々と金銀ダブルメダルを獲得、インタビューでは最初から集中して自分の持ち味を出し切る、躍動感あふれるレースが出来たと達成感があふれていました。決勝終了後には2位となったライバルを優しく抱きしめ、お互いを尊敬しあう姿に、国内外に爽やかな感動を与えたことも印象的でした。

同じくスピードスケートの高木姉妹も驚異的な強さで多くのメダルを獲得しました。妹の美帆さんは金銀銅全色のメダルを獲得、姉の奈那さんは日本女子初の同一大会金メダル2個という快挙を揃って成し遂げました。ちなみに姉妹で金メダルということも日本初とのことです。二人揃って並んだ一番高い表彰台は輝いていましたね。

今大会、私のお気に入りとなったカーリングが最後になりました。スキップの藤澤五月さんを中心としたチームワークの良さ、プレッシャーのかかる場面での冷静な判断力が、メダル獲得に結びついたのでしょう。テレビに映る「もぐもぐタイム」や北見の言葉「そだねー」も、お茶の間を大いに引きつけました。海外のメディアは「スマイルとチームワークでは金メダル」と賞賛していたそうです。

日本選手の皆さん、お疲れさまでした。「ばんざーい！」次も頑張ってください。

クイーン・エリザベス号で行く憧れのクルーズ

齋藤 治子（19 期 陶芸・瀬田南）

クイーン・エリザベス号で行く地中海、アドリア海のクルーズを 1 年前に予約する。

10月6・7日 関空 23 時 45 分発アテネまでの直行便がない為、ドバイ経由でアテネ 15 時 30 分着。空港では迎えの車に乗り約 1 時間で乗船する港へ娘と二人だけで移動する。

乗船は厳格な手続。クルーズカードは身分証明書、部屋のキー、レストラン入場、寄港地でのチェックに必要でいつも携帯する。二人で船内散策。広くて豪華自分の部屋を探すのも地図片手で一苦労する。ディナーはフルコース。毎回数あるメニューから選ぶのは大変。ゆっくりと食事を満喫した後、ショーを楽しみ早めに就寝。24 時アテネ・ピレウス港を静かに出港する。



日本語の新聞が翌日の行程、ドレスコードの指定、日の出・日の入りの時間、気候気温、催し物の会場・時間などのお知らせが部屋に届くのでチェックが重要となる。部屋は海側キャビンで広くてとても清潔、ゆっくりくつろげる。一日二回部屋の清掃、同じ人が担当、仲良しに。

10月8日 終日クルーズ。厨房見学ツアーに参加する。英国スタイルの優雅な船内は英国そのままの世界が広がる。シアター、ラセン階段が美しい図書室、カジノ、ショッピングセンター、プールなど。夜は 18 時から船長主催のウェルカム・カクテルパーティ、フォーマルドレス着用、ディナーの後、遅くまでダンスパーティで盛り上がる。

10月9日 サランダ上陸。本船では着岸出来ず、テnderボートに 50 名位乗って、次々島に上陸。後は自由に徒歩で回る。古代遺跡はユネスコの世界遺産。16 世紀の城壁、石造りの家、岩場の上にある古い城。砂利や段差のある場所が多く、旅行前に足を痛めた私は歩きづらく、下町のみゆっくり散策する。

10月10日 終日クルーズ。プールで泳ぎ、デッキで昼寝。ショッピング街での買物、図書室で読書などゆっくりとした時間が流れる。夜はフォーマルドレス。英国のアスコット競馬場で見られるような派手な帽子の女性、男性はタキシードに山高帽。ディナーは 6 時半と 8 時半の 2 部制。私達は 8 時半から 11 時近くまで 2 人だけの指定席。いつも同じ顔ぶれ。レストラン担当もいつも同じ男性、9 ヶ月乗船 3 ヶ月下船、とても仲良しに。後、シアターでショーを楽しむ。

10月11日 クレタ島半日バスツアー。ヨーロッパ最古のミノア文明を生みギリシャ国内最大、地中海でも 5 番目となる大きな島。山とサマリア渓谷もあり美しい自然を背景に古代遺跡を残す魅力を満喫する。モスク等様々な文化遺産巡りとギリシャのムカサ料理、茄子、ジャガイモ、アボガドの上にミートソース、ホワイトソースを重ねて焼く。美味しくて他の島でも何度か食べた。



10月12日 ロードス島半日バスツアー。風光明媚な古代から交易で栄えた歴史ある島中心となるロードスシティ。旧市街は中世の聖ヨハネ騎士団が築いた城壁都市で世界遺産。古代遺産が点在し、ビーチも多く城壁の街。

10月13日 ミコノス島。紺碧の海に迷路の様な白い街並みが輝くエーゲ海の真珠と言われている。純白の街と古い風車がギリシャを代表するリゾート地。島の西岸ミコノスタウン。迷路の様な白い道。白壁にカラフルな窓に花が飾られ散策しているだけで夢の様な時間が過ごせる。カフェやランチを満喫、おしゃれな店で買い物をする。

10月14日 アテネ・ピレウス港着。乗船客の国籍は 34 カ国計 2,031 名。日本からは 55 名。9 時 30 分から下船が始まる。ギリシャの首都アテネをバスで市内観光。古代遺跡と近代的な建物が入り混じり見どころが沢山あるも、残念ながら石畳と坂道が多く、今の私の足では眺めるだけ。街中のお洒落なレストランでランチ、素敵なお店でのショッピングを最後に楽しむ。アテネ 18 時 5 分発ドバイ経由で、関空 17 時 40 分着。いつもの様にすべて娘頼りの楽しい旅でした。

澤島 令子（33期 地文・北大路）

カスピ海とか死海とか塩気のある湖は「海」がつくのになぜウユニは塩湖なのだろう。

2月20日 関空から約10時間の空の旅7時頃（現地時間）ロサンゼルス着。ホテルにて休憩後21時頃コロンビアの首都ボゴタへと7時間のフライト。ここ、ボゴタは高度2,600mとか、ウユニ3,760mに慣れるために寄ったようだ。



2月21日 ホテルに荷物を預け、シパキラの塩の教会へ。岩塩鉱山の採掘場跡に造られた教会で縦16m、横10mの十字架は地下にあるものとしては世界最大のものといわれる。薄暗い洞窟の中に浮かび上がる十字架は幻想的で近寄ってみて驚いたが、正に塩の壁に掘り込まれていた。すぐそばにいて内側からライトに照らされていて初めてわかった。遠目には十字に切り出されたと思えなかったが。採掘のあとの空間には他にもたくさんの十字架があった。現在も塩を採掘していて、まだ500年先までの埋蔵量があるそうだ。夜は山の上のレストランへ。500mの高さをロープウェイで登る。かなり急な傾斜に歩いてでなくて良かった！夜景は素晴らしかったがロープウェイの駅からの坂道はこたえる。500mだけ上がったとはいえ、3,000mを超えたのだから。

2月22日 夜、約4時間のフライトでボリビアのラパス（4,000m）へ。ボリビアは世界最高所にある首都ラパスをはじめとして標高3,000mから4,000mに多くの町が存在し面積はおおよそ日本の3倍だそうだ。憲法上の首都はスクレだが1900年に行政機関が移ってからラパスが実質上の首都となっている。

2月23日 午前3時にラパス着。7時過ぎ再びウユニへと45分のフライト。9時ごろ町のレストランで朝食。列車の墓場へ。昔ウユニからチリへと塩や鉱物をはこんだ、かつての蒸気機関車や貨車が放置されている。近くを走る線路はまだ使われているとかで、レールはさびていず、きれいに光っていた。その後ウユニへ。ウユニ塩湖は数百万年前にアンデス山脈が隆起した際に海底が海水ごと持ち上げられ取り残された。やがて海水が干上がるにしたがって水分中の塩がかたまり、いくつかの塩湖となった。流れ込む川のないウユニ湖は乾季には一面真っ白な湖に覆われ、今でも湖には塩分の濃い水が染み出している。ウユニ塩湖の最高地点は3,760m。ウユニ塩湖は高低差がほとんどないため、見渡す限りの真っ白でまったいらな世界が広がる。塩湖の大きさは約120km×約100kmあり、面積は約12,000km²約20億トンという膨大な塩がここにある。ホテルでランチ後いよいよウユニへ。四輪駆動車で、今は雨季なので20cmほど水のたまっている湖の中へと乗り入れた。波の静かな湖面はまさに「天空の鏡」。雲も山も車も人も全部映っていた。ここは塩分濃度70%とか。海水の平均塩分濃度が3%、あの、人が浮く死海ですら27%、ここに水がもっとたまったらどうなるのだろうか。そのせいか水の中を静かに歩いているつもりでもどうしても塩水がはねるが、かわくとたちまち塩の華（結晶）で真っ白に。ひどい場合はごわごわに。ウユニ塩湖へ行く予定の人はオーバースボン（百均のレインズボンでOK）かナイロン地のズボンがおすすめ。ホテルは「塩のホテル」として有名で壁もベッド（敷布団の下）も塩、天井は30cm角のサイコロ状の塩の塊を積み上げてドーム状になっていた。ロビーにコカ茶などのドリンクサービスがあったが沸点が80℃とか、教科書では習ったがじっさい高所に来てやっとわかった（ちなみにコカ茶は高山病にきくと言われ、ここにいるときは飲んだが、麻薬の一種ということで日本への持ち込みは禁止されている）。高山病にはポカリなどスポーツ飲料の粉末を持っていくとよいそうだ。夜は星空観賞。人工の明かりが無い中で南十字星、その他いろいろ。

2月24日 ウユニ湖でのサンライズを見、朝食後四駆でウユニ湖へ。さまざまなトリックアートに興じる（UYUNIの文字の上に人が乗っているように遠近で操作）。なお、高地ではカメラの電池の消耗が激しく、充電しても70%くらいしか充電できないので充電器は必需品。昼食はそのまま湖の中でテーブルをセットしてバイキング。その後2年前に「パリ・ダカ」が行われた記念のモニュメント見て、サンセットと星空観賞。

2月25日 ウユニに別れをづけ、ラパスへ。ティワナク文化は紀元前200年から紀元後1,200年までも続きインカに大きな影響を与えたそうだ。広さは4km四方におよび、巨石文化は40km以上も離れた所から石が運ばれ標高3,900mの高地に誰が何の目的でこの壮大な宗教都市を築いたのか謎となっている。

2月26日 ラパスからペルーのリマ、エルサルバドルのサンサルバドル、ロスで一泊。

2月27・28日 ロスから日本へ、約12時間のフライト。ウユニはウユニ海でなくなぜ塩湖なのか、謎はいまだ解けない。

琵琶湖疎水船・乗船記

松岡 克実 (32 期 健レク・北大路)

5月17日(木)琵琶湖第1疎水大津閘門の乗下船場から9時発下り「めいじ号」にて蹴上乗下船場まで約8km、55分の船旅を楽しんだ。ガイドは「トム」こと吉川さん、船長は山口さんで運営事業者は琵琶湖汽船とJTB。3年間の試行期間を経て、今春から春・秋の本格的運航が始まった。

琵琶湖第1疎水は明治23年(1890年)に完成したが、疎水建設実現には様々な反対や不安を払拭する説得に挑んだ「北垣 国道」、若くして工事責任者になり幾多の困難を乗り越え完成させた「田邊 朔郎」の二人の立役者なくしては日の目を見ることはなかった。これらの人々の夢や苦勞に思いを馳せ、通船は約70年の時を経て復活しました。

8時半過ぎに乗船予定者12名全員が集まり、10分ほどの疎水に纏わるVTRを観賞し、乗船場に向かった。船は乗客12名と船長、ガイドの計14名。乗客は船側に直角に背中合わせに6名ずつ座り、ライフジャケットとシートベルトを締めた。乗船は1名ずつ、左右交互に着席し、吃水の浅い船の安定をはかる。岸の係員に見送られ出発。春は桜がきれいな鹿閑橋の近くの乗船場を出て程なく第1トンネル、扁額は伊藤博文「氣象萬千」、に入る。2、436mもあり、約15分も掛った。船からライトを左右前方に照らしているので真っ暗でなく壁の様子がよく分かる。途中竪穴坑から滝のように水が流れ落ちているところがあったり、中間点の「中央」の表示を見たり、昔の上りの船が使った綱が右手に張ってあったり(ここは左側通行)、通船でないと見られないポイントが多々あった。

5、6年前ウォーキングの小関峠越えで苦勞した距離を、25分で藤尾を経て四ノ宮船溜まりに到着。矢張り山科疎水の景色が一番の見どころ。新緑のモミジやイチョウの葉は目にも鮮やか。毘沙門堂、安祥寺の紅葉を思い出し、秋にまた乗ってみたいとなった。疎水沿いの散策路をウォーキングやランニング、写真撮影している人々が乗客と手を振り交わしていて、何ともすがすがしく思えた。本圀寺の朱塗りの橋を過ぎると、天智天皇陵、第2トンネル、第3トンネルと続き、終着の蹴上乗下船場(旧御所水道ポンプ室)に到着。このポンプ室は防火用水を御所へ送るために作られた。第3トンネルの扁額は三条実美「美哉山河」。この扁額の上には田邊を称えた刻印がある(下図の黄枠で囲んだところ)。

SakuroTanabe, Dr. Eng., Engineer-in-chief. Works Commenced August 1885, Completed April 1890

因みに、料金は3段階に分かれていて、通常期：4,000円、繁忙期：5,000円、トップ期：8,000円。私の乗ったのは通常期。トップ期だけでなく、定員が12名なので予約開始と同時に殆ど完売してしまう様だ。



世界迷作劇場を読んで

茨木 慶一（35 期 地文・石山南郷）

このほどサンライズ出版社から発刊されました津田康洋氏著「世界迷作劇場」を読み、その感想を述べさせていただきます。筆者津田さんはレイカディア大学 35 期地文卒の同級生です。

同書の副題に「中高年のための小噺集」とありますように、大人向けの小噺が 59 題あるのですが、すこぶるテンポの良いリズム感溢れる音楽を聴いているように「アッ」と言う間に完読してしまいました。読むほどにユーモアとときめきが感じられ、思わずニヤッとする箇所が随所にあります。

同書は寄席のように「前座」編からはじまり「子供のころ」「青春時代」「中高年時代」「じいさん、ばあさん」編となっています。

「前座」編「子供のころ」編に載っている小噺もなかなか面白いのですが、「青春時代」編あたりからは、筆者の才能に油が乗ったように面白く、思わずニヤッとしてしまい、誰かに見られてないかと周りを見回すような小噺が多数です。

その「青春時代」編の「たばこ屋の花子」、「勝負下着」、「木登り」などは、題名だけでも面白そうと思わせるのですが、読むほどにそれぞれの場面が目に浮かんできて、頬の筋肉が緩みっぱなしです。また、筆者の人柄を思わせる「恋と愛」もなるほどなあと思います。「夫婦円満の秘訣」においては、結婚披露宴で仲人が「夫婦円満の秘訣は相手をほめること」のスピーチを受けて、ベッドイン後の花嫁さんのほめ言葉に思わずウヒヤとのけぞりそうになりました。また、「新婚旅行」では、新郎新婦がそれぞれ過ごしてきた青春時代が現れるようで、この二人仲良く生活が続くのかなと余計な心配をしてしまう小噺もありました。

「中高年時代」編からは、円熟度がさらに増してきたようで「お父さんいる?」、「お祈り」、「最高のプレゼント」などに、人生の一場面を上手く切り取り、ユーモアを添えた小噺に仕上がっていると感心しました。「おばあさんの終活」は嫁と姑の確執がそれとなく表現されていて、オチの箇所でドッと本音が出てきます。おばあさんの検査結果に啞然とする「尿検査」も思わず笑を誘います。

最終「おじいさん、おばあさん」編の「あなたの声」は、叫んでいるおばあさんに、いとおかしです。「鯉の恩返し」は、現役地文時代の紙芝居製作を思い起こす小噺ですが、何度読んでも飽きの来ない、老いらくの恋物語で、オチの部分では苦笑してしまいます。

ここでは、小生の感じたことを拙い文でご紹介させていただきましたが、異なった目でご覧になっていただきましたら、違ったユーモアに気が付かれると思います。

昔から「笑う門には福来る」です。機会がありましたらご一読をお勧めします。

[わが町の歴史]

我が町『大石』の探訪

永尾 正昭 (34 期 地文・石山南郷)

今日のところの探索は JR 石山駅よりバスに乗り終点の大石で降りると、すぐそばに佐久奈度神社(サナド)がある。この神社から富川町までの探索をしてみようと思う。

佐久奈度神社は平安時代から七瀬祓所の一つとして信仰を集めている。またお伊勢参りの前にはまず、ここで御祓いを受ける習慣があった。また、ここには寛永 6 年(1629)に大石良勝(大石良雄の曾祖父)が奉納した「板絵著色武者騎馬像」がある。ここから鹿跳橋に戻り、大石内蔵助良雄(赤穂義士)の菩提寺である浄土寺を訪れる。この住職の話は大石家と浅野家のつながりなど軽快なテンポで話され大変面白いものである。裏山には大石氏館跡があり、苔むした石組などがわずかに残っている。

そこを出てしばらく行くと関津峠から降りてくるところに出くわす。この関津峠には、義民碑〔江戸時代初頭、山間部で平野の乏しい富川・東・中・淀・龍門の 5 カ村は、木柴・薪炭などの林業で生計を立てていた。大津方面にそれらを売りにいくとき、この関で行に 5 文の人馬役を取り、帰りに浜入りとして 10 文の関銭を取っていた。そこで富川村庄屋彦治と弟源吾の兄弟は村民の窮乏を見かねて膳所藩に陳情したが省みられなかった。そこで幕府の巡検使に直訴した。それを知った藩主戸田氏は重税を改めた。しかし翌年兄弟は直訴の罪で処刑された。〕がある。



そこから信楽川に沿っていくと一般に、富川磨崖仏・岩屋不動と呼ばれる阿弥陀三尊不動明王磨崖仏が信楽川北岸の山中に屹立する大岸壁(高さ約 30m、幅約 20m)にある。岸壁の右下に長文の刻銘が記されているが、多年雨露に晒されて文字が鮮明でない。その中に「応安二(1369)十月日」と判読できるので、鎌倉時代後期から南北朝時代に造立されたと思われる。本尊の耳孔(ミミナ)から鉱水が流出して淡紅色を呈していることから、俗に『耳だれ不動』と呼ばれ、耳の病に霊験があるとして、庶民の篤い信仰を集め参詣者が多いところである。

そこを出て再び信楽川に沿って歩く、旧伊勢街道に入ると春日神社がある。『春日大明神紀』によれば久寿元年(1154)に藤原重友が奈良から春日社を勧請した。文保 2 年(1318)に社殿を改築し、康永 3 年(1344)にも改築され、これが現在の社殿である。春日神社本殿〔重文〕は二間社流造・入母屋造・檜皮葺きで棟木の記名から文保 3 年(1319)に建立された。二間社で、本殿中央に柱が位置するという構造は、全国的にも類例が少ないものである。この臺股は精巧な透彫りが施されている。西側の彫刻は唐草と宝珠、東側の方には唐草と揚羽蝶を配するもので鎌倉時代の文様を知ることが出来る好資料である。この場所は『応仁廣紀』の中で、応仁元年(1467)足利義視が京都の乱を避けて伊勢に逃れる際にこの春日社に宿陣したとある。

この春日社の隣に常信寺がある。現在の本堂は鉄筋コンクリート造りで、仏像・寺宝の収蔵庫を兼ねている。ここに木造釈迦如来及び両脇侍坐像〔重文〕を祀る。蓮華座に坐す釈迦如来像を中央に、獅子座に乗る文殊菩薩像と象座に乗る普賢菩薩像を左右に配す。像高は釈迦如来が 88.5cm、脇侍がともに 57.1cm である。3 体とも寄木造の漆箔像で、深く内刳し、像内まで漆箔・金箔を押す(皇族や上流貴族が発願した仏像に類例のある技法)。東隣する春日神社の本地仏で 12 世紀中ごろの造像と思われる。その他に版本大般若経を蔵している。そこからしばらく行くと前述した大石義民の彦治・源吾の菩提寺である往生寺がある。ここには五箇村が発起人となり墓碑が建てられている。今日はここまでにしておきたいと思う。

会員文芸

俳句

石積みのある門前町吟行

(二十九期文芸)

瀬田 大坪石山

行く春を坂本吟行惜しみけり

里坊に清水走りて汚れなし

比叡 岡田一也

院かゝむ穴太石積苔青し

古池や波紋をひろぐあめんぼう

石山 久保貞邦

若葉風枝の詰まりし穴太積

青楓大師の井戸を護りをり

瀬田 勝田幸川

里坊をめぐる水路や新樹光

囁きを交わす石積若葉道

川柳

梅景宏(二一期瀬田・生活)

熟年の生きざま多様レイカディア

大相撲横綱大関生んだのは

この世からヘイトセクハラ

無くしたい

獣医さん牛馬ポチにも忖度を

孫就活爺も負けずに終活よ

鵜飼 俊彦様(二九期文芸・平野膳所)が
朝日新聞四月の「滋賀俳壇」で入選されました。
茎立くまたちや子の居ぬ過疎のなんでも屋

[会員動向]

会員数

大津支部会員数（6月15日現在） 236名

大津支部事務局からのお知らせ

7月の執行役員会及び役員会の開催はありません。

8月10日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

8月30日(木) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月7日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月27日(木) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

広報部からのお知らせ

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、今回は平成30年9月下旬の発行の予定です。

原稿締め切りは8月27日厳守です。投稿の要領は従来の通りです。尚、62号には会員投稿の掲載はありません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の文字数は1,200文字以内を厳守下さい。

表題の下部に氏名（期生、学科・地区名）を記入下さい。又、写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで

〒520-0003 大津市あかね町13-21-607

福井 かおる宛 TEL 077-523-5383

PCメールは 佐瀬 章男宛 sase@opal.plala.or.jp

松岡 克実宛 katumatu66@yahoo.co.jp

[編集後記]

今年度から広報部会長としてお世話になります。初めてのかけはし61号、皆様に助けて頂いてなんとか発行出来て良かったです。記事を書いて下さった方、編集委員の皆様ありがとうございます。私もこれから色々と勉強をして行きますので、よろしくお願いいたします。

今年は早い梅雨入りで、しばらくはスッキリしないお天気が続きそうですが、皆様お元気でお過ごしください。最近では集中豪雨による大きな被害が続いています。今年はそんなことがなく、梅雨が明けるのを待ちたいと思います。

編集委員

岩田 和彦(志賀) 奥田 耕治(志賀) 大口 正勝(堅田) 福井 かおる(唐崎) 和田 紀久子(日吉)
大塚 庸行(打出) 住若 富子(打出) 釜淵 佳明(平野膳所) 松岡 克実(北大路) 脇田 進(石山南郷)
茨木 慶一(石山南郷) 佐瀬 章男(瀬田北) 中村 健一郎(瀬田月輪) 栗田 昇(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報 61号(平成30年6月27日発行)

発行責任者 大津支部長 奥田 耕治

編集責任者 広報部会長 福井 かおる

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、地域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。